

相模

S A G A M I

www.samukawajinja.jp

初詣

令和七

乙巳歳

はじまりは

ここから

相模國一之宮

八方除

寒川神社



第539号
令和7年1月1日



相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命(さむかわひこのみこと)
寒川比女命(さむかわひめのみこと)

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発・指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当神社の創建は古く、『惣国風土記』には雄略天皇(457～479年)の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年(727年)社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年(846年)に神階従五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当神社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は広大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山(かみかみ)を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門、手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、総木曾檜造りの御本殿のほか、幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。

また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。

Instagram 公式Instagram
samukawa_jinja_official



当神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。
※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください

YouTube 公式チャンネル



当神社の祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。

公式LINEアカウント



当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。

公式フェイスブック



当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。ご一緒に登録をお願いします。

ご登録お待ちしております

当神社の祭典・行事のご案内を社報「相模」メルマガとしてお届けします。是非、ご登録ください。

 ◆メールは毎月1日に配信致します。
◆ホームページよりご登録ができます。
<https://samukawajinja.jp/mailmagazine/>

社報「相模」メルマガ

- 2 令和7年 年頭のご挨拶
- 4 社務報告
- 6 新嘗祭奉納者芳名
- 8 令和6年 新嘗祭式典のご報告
- 10 迎春ねぶたのご紹介
- 11 迎春ねぶた第 25 回記念特集
- 12 乙巳歳 干支の絵のご紹介
- 13 青少年だより
- 14 神恵苑だより・正月特別授与品のご紹介
- 15 相模の歌・人事
- 16 1月～3月 祭典のご案内



一ノ鳥居

【表紙】
陽月
「乙巳歳」

【題字】
神社本庁 総長
田中恆清



《方徳資料館》

令和7年2月末日まで
冬季閉苑をしております
 令和7年3月1日(土)より開苑予定ですので、
 詳細は開苑が近づきましたらホームページにて
 告知致します。



《八氣の泉》

かん たけ やま しん えん
神嶽山神苑
 寒川大明神との御神縁をお深めください
 ※入苑は御祈禱を受けた方に限ります

令和7年乙巳歳きのとみ 年頭のご挨拶

寒川神社宮司 利根 康教



令和7年乙巳歳を迎えまして、謹んで聖壽の萬歳と御皇室の弥栄を言祝ぎ、国家国民の繁栄、世界の恒久平和を衷心よりご祈念申し上げます。また、寒川町民をはじめとした氏子崇敬者におかれましては、常日頃より当神社の諸祭事に関しまして格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

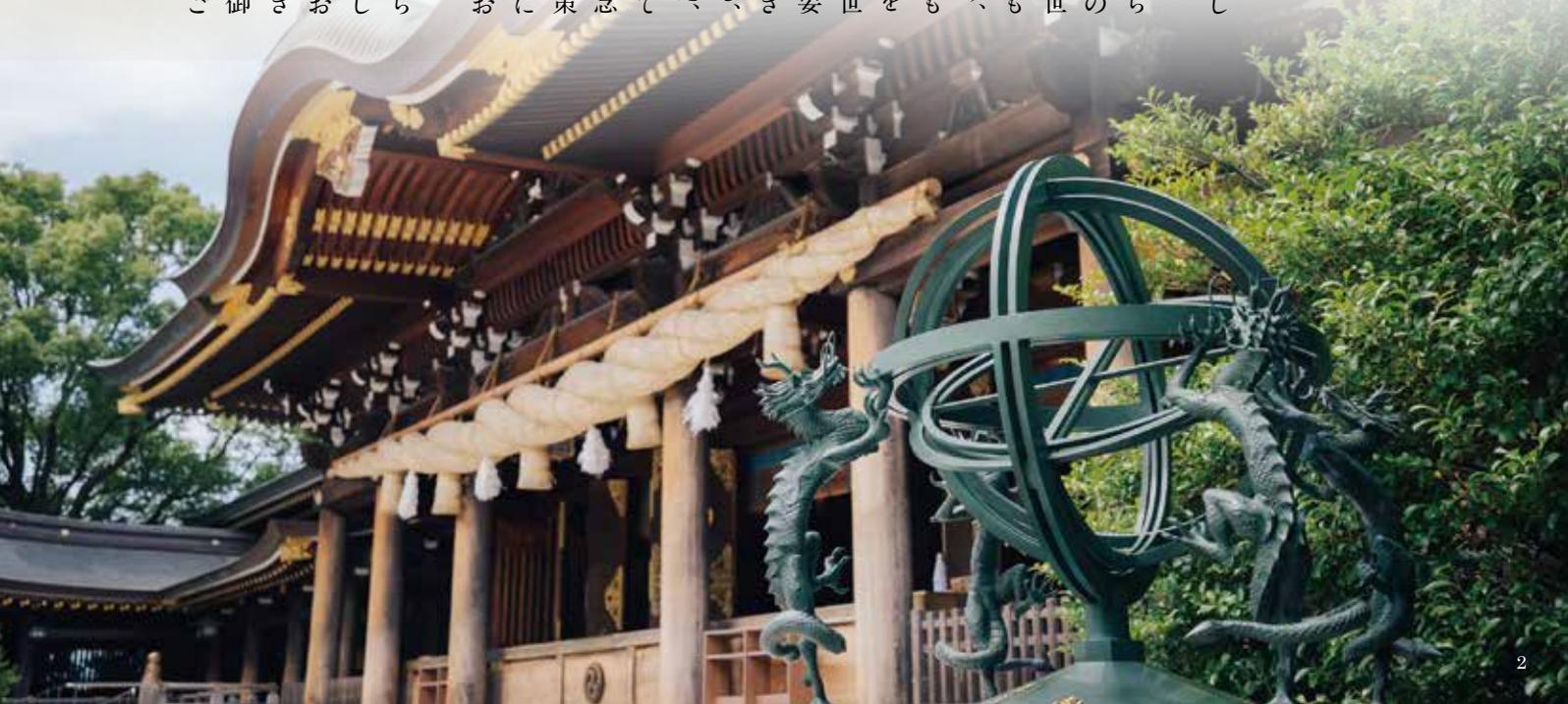
本年は乙巳歳でありまして、十干十二支においては42番目として、巳の字は草木が繁栄の極みに達した様を表していると考えられています。また巳（蛇）はその醸し出す容姿が恐れ多いと思われがちですが、当神社では古くより白蛇が御神木に棲みついていると言われ、家運隆昌の生き物として畏敬の念が抱かれています。本年の迎春ねぶたにも干支が描かれておりますが、巳（蛇）は弁財天の使者とされており、元來、弁財天は農業を中心とした農耕神でしたが時代とともに七福神の一人となり、芸道や学問の神として広く民衆に信仰されるようになりました。弁財天を祀る多くの神社にも「巳」が関係する歴史があるのもその一つと言えます。

さて、本年は斯界における重儀始まりの年でもあり、また大きな節目の年でもございます。一つに、神社界においては全国民の総奉賛としての三重県の伊勢の神宮において、来る第六十三回式年遷宮に向けての諸祭事が開始されます。昨年4月に宮内庁長官を通じて伊勢の神宮大宮司に、次期式年遷宮のご準備についての正式な御聴許が拝されました。本年の春先より御用材を伐り出す御杣山が定められ、遷宮の御造営用材を伐採する御杣山の神を祭る山口祭より諸祭事が進められます。当神社をはじめとした全国の神社が遷宮完遂に万全の準備を整え、令和15年秋の遷宮に向け遷宮啓発活動を行って参りますので、ご崇敬の皆様におかれまし

ては何卒、本重儀にお力添えを賜りたくご協力をお願い申し上げます。

またもう一つに、本年は「大東亜戦争終戦八十年」、さらには「昭和改元百年」という節目の年でございます。現在の日本において、75歳以上が人口の約6分の1となり、戦後世代が多くを占める中、戦争の意義とその歴史を語る場面も少なくなってきたとあります。日本の歴史を勉強するにあたり、教育現場において現代史を学ぶ時間が極めて少ない現状も大変、憂慮されることとあります。先人が築き上げた日本をそして忘れてはならない大和の心を令和の時代を担う若い世代には是非とも、この節目に多くの事を学んでいただく必要があると考えます。そのような世情を鑑みて、当神社におきましては、靖國神社参拝をはじめとした英霊顕彰を促進し、さらには戦後八十年の記念事業を計画しております。また、「昭和改元百年」においては、昭和という時代の継承として超党派の国会議員連盟により、令和8年に政府主催の記念式典開催の要望書が提出され、内閣官房において関連施策推進室の設置が決まっております。私たち神職は、今以上に戦争と昭和の時代の史実を正確に伝えて参りたいと思っておりますので、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びとなりますが、当神社は多くの氏子崇敬者に支えられており、斯界におけるその役割も十二分に理解して邁進しております。寒川町民をはじめとした崇敬者の皆様におかれましては、本年も諸祭事・諸事業へのご奉賛をいただきますようお願い申し上げます。令和7年が寒川大明神の御神徳を存分に受けられまして、実り多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





相
模

第
539
号



相模塾第4回講座



人形感謝祭



末社宮山神社神幸祭



明治祭



神嘗奉祝祭



末社宮山神社神幸祭

寒川神社 社務報告

祭典・行事のご報告

10月

6日 末社宮山神社神幸祭

15日 人形感謝祭

17日 神嘗奉祝祭

19日 相模國式内社の會總會

27日 第3期相模塾第4回講座

28、29日 浪速神樂講習会

11月

1日 職員防災訓練

3日 明治祭

10、23日 第57回菊花写真展

11、12日 相模湘南支部教養研修会

12日 相模湘南支部

神宮大麻曆頒布始奉告祭

17日 企画展「人生儀礼と神社詣」

(9月14日～11月17日)

23日 新嘗祭

人形感謝祭

10月15日「人形の日」にあわせて、人形奉斎殿において人形感謝祭が斎行されました。

古くより日本では人形には魂が宿るといふ風習があり、その心は今も日本人の中に継承されています。秋晴れの中、多くの参拝者の参列のもと、節句人形やぬいぐるみなどを大麻と切麻によって祓い清め、厳肅に祭典が執り行われました。

神嘗奉祝祭

伊勢の神宮において斎行される年間1500にも及ぶ祭典の中で、最も重儀とされているのが「神嘗祭」です。その年に収穫された新穀を天照大御神様に捧げ、その恵みに感謝する祭典です。

10月17日には皇大神宮（内宮）において、天皇陛下が遣わされた勅使によつて奉幣が行われ、天皇陛下におかせられましては、皇居内において皇大神宮を御遥拝になられます。当社でも神嘗奉祝祭を斎行し、神宮を遥拝しました。

相模塾第4回講座

10月27日午前・午後に分かれて、第3期相模塾第4回講座が開催されました。今回は「祭式作法」と題して、神社祭祀の解説や装束などの説明が行われ、基本作法や祭典を執り行う上での作法の体験を実施しました。実際の祭典で使用する案（台）、玉串を使用し、受講生は、拝礼の角度や玉串を用いての作法、講座で学んだことを振り返りながら取り組んでいました。



新嘗祭



第57回菊花写真展



相模湘南支部教養研修会



煤拂祭



第57回菊花写真展



神宮大麻暦頒布始奉告祭

12月

14日 煤拂祭

20日 迎春ねぶた設置

21日 第3期相模塾第5回講座

31日 師走大祓式並除夜祭

♪ 神徳感謝祭

毎月1日・20日 月次祭

相模湘南支部教養研修会

11月11・12日、神奈川県神社庁相模湘南支部主催の教養研修会が当神社参集殿において、2日間に亘り開催されました。例年、支部ではこの時期にさまざまな研修を行っています。今回は講師として國學院大學名誉教授岡田莊司氏をお招きし、相模原支部・相模中連合支部・相模中央支部にも広く案内をかけて実施しました。

研修内容として「循環祭祀体系（天皇と伊勢の祭祀から一宮祭祀へ）」と題して講演されました。古代における祭祀の根源として天皇・国司・神職・公民の御言とそれに対応する復命の関係性、また新嘗祭が近かつたことから平成・令和の大嘗祭についても説明がされました。

神宮大麻暦頒布始奉告祭

11月12日、神奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が各神社宮司参列のもと、斎行されました。神宮大麻は天皇陛下の御祈願である、皇室の御安泰と国家国民の安寧を祈る御神札です。伊勢の神宮より神社本庁、各都道府県神社庁を

通じて、神宮大麻と神宮暦が全国の崇敬者へ頒布されます。

新年を迎えるにあたり、氏神様の御神札とともに神宮大麻を神棚にお祀りして、大御神様の御加護をいただきその年の国家隆昌・家内安全をお祈りください。

新嘗祭

11月23日、当神社の「三大祭」の1つ、新嘗祭が役員・総代・氏子崇敬者の参列のもと、厳粛に斎行されました。この祭典は、秋の豊かな稔りに感謝申し上げる祭典で、崇敬者の方々や近隣の生産者より丹精込めて作られた新米・野菜・果物・生花など、様々なものが御神前に奉納されました。また、雅楽の音色に合わせて、巫女による豊栄の舞が奉奏されました。祭典終了後、参集殿において神社に多大なご尽力を賜った篤志奉納者と第57回菊花写真展の受賞者の表彰を執り行いました。

※詳細は6〜9ページに記載しております

令和6年

新嘗祭奉納者芳名

(順不同・敬称略)

初穂米・一升米・稲穂・魚
酒・野菜・果物・卵・花・菓子等

相田 孝	相原 善久	青木 誠	青木 誠	青山大寿司	木村 光晴	赤坂美砂子	穂元千恵子	秋山 正樹	(株)浅田水産	(株)アサヒレーシー之宮薬	堀之内 仁	阿諏訪容之	阿部 秀利	天利 茂雄	荒井たいこ	荒井 利公	荒井 利仁	荒井 萌良	淡路 悟一	淡路 真理	淡路 陽子	安齋 潤二	安藤 駿	石井 明彦	石井 進	石井 大輔	
石井 豊太	石黒 清	石黒 鉄男	石黒 久一	石腰 明美	石田 茜煌	石田 紗子	市川 明	市川 澄雄	市川 太一	市川 幹雄	市川 駿蘭	井出 勉	井出 一浩	井出 久子	伊東 久子	伊東 満	伊東 健一	井上 詩風	井上 美紀	井上 美紀	井上 幹夫	井上 幹啓	井上 利枝	井上 隆男	井上 郁雄	井上 清子	
入澤 一三	岩田 清美	宇田川良一	内田 暁子	エステサロソルルド	(株)エフピーアンドホーム	大内 孝栄	大川 剛	大川 久之	(株)オーカワ	大久保静男	大久保泰明	(有)大角塗装工業	大谷 光昭	大塚 満枝	大伴 京子	大和田恵里子	岡田 吉徳	小河 静雄	沖田 康宏	小倉 康宏	小倉 照彦	小倉 通子	小野田 実保	小原 淳志	小原 悦子	小原 清子	
小原 英明	飼沼 真由	笠間 慎一郎	(株)ガスワン南関東	片岡古都子	片桐 正道	片桐 裕子	片桐 裕司	片桐由美子	加藤 貞雄	加藤 俊二	加藤 智子	神奈川県神道青年会	神奈川県赤十字	血液センター湘南事業所	(株)カナリヤ	金子 一男	金子 昌裕	金子 隆夫	金子 隆次	金子 隆武	金子 共秀	金子 信夫	金子 幸一	(株)金子建材土木	亀山 博	亀山 清子	
川口 末廣	川口 由紀子	川口 美子	川崎 正恵	河野 亜希子	木内 和彦	木内 和美	木内 敏幸	(株)北岡本店	北村 茂	北村 利夫	北村 工務店	木村 健治	木村 孝行	木村 保博	(有)協和クリーニング	國井 香預子	國井 優始	國井 泰意子	國井 律頌子	熊澤 酒造(株)	倉石 幸子	倉石 賢太郎	倉橋 博之	(株)グリーンファーム佐渡	栗田 馨	栗田 清子	
栗田 隆	栗田 知一	栗田 登	栗田 康男	小泉 和輝	(有)小泉 恭子	光 工 匠	光 生	水澤 豊	興 全 寺	高南運送事業協同組合	光野 進	(株)工房えむま	(株)晃和ディスプレイ	黄金井由香里	小島 正好	小島 輝雄	小島 信男	小嶋 龍己	越村 晃一郎	越村 晃一郎	昭義 一郎	繁男 昭義	隆志 昭義	近藤 喜一	近藤 健雄	近藤 益枝	
齋藤 博一	齋藤 雅俊	齋藤 洋行	坂上 輝	さがみ農業協同組合	代表理事組合長	西山 國正	寒川地区運営委員会	委員長 石黒秀樹	寒川 支店	支店長 大川浩昭	支店長 高下雅美	支店長 高下雅美	寒川宮農経済センター	センター長 大久保仁	坂元 裕子	酒谷 勇	(医)さくまこともクリニック	佐々木ジョン洋介	佐々木 重紀	佐藤 重紀	佐藤 昭宏	佐藤 昭一	佐藤 朝一	佐藤 敦之	佐藤 克哉	佐藤 俊哉	佐藤 真弓
佐藤 理恵子	佐藤 恵理子	佐藤 航之	佐藤 好崇	佐藤 哲	佐藤 宏	佐藤 幸雄	座間 仁美	寒川駅前クリニック	寒川神社神一会	寒川神社商工奉賛会	寒川町観光協会	(有)寒川建材	寒川町観光協会	(有)寒川公衆衛生社	(有)寒川公衆衛生社	寒川町農産物品評会	篠塚 真理子	篠塚 達夫	篠原 百合子	(株)シノハラ	柴崎 久恵	柴谷 幸宏	下村 幸宏	シャトレーゼ	湘南さむかわ店	城内 邦夫	城内 政春
城内 牽輔	城内 麻里	白倉 綾	信 花 園	菅原 章吾	菅原 孝行	杉崎 秀男	杉崎 保明	杉山 直弘	杉山 英昭	杉山 光弘	鈴木 一實	鈴木 一實	鈴木 一實	鈴木 哲夫	鈴木 尚美	鈴木 裕一	鈴木 隆俊	鈴木 隆俊	鈴木 隆俊	鈴木 美子	須藤 真紗慧	須藤 利昭	曾根 利昭	野中 正博	大用 富作	大用 靖	

高瀬	茂	中沢運輸(株)	花島	郁代	豊	月	堂	皆川	米男	横溝	貞義
(株)タカトープランナー	中島	啓介	羽田美恵子	ボイスカウト寒川第15	南	賢宏	横溝	実	都	江	
高頭	昇	中島多恵子	(有)原田総合保険事務所	星	佑樹	三原	京子	横山	章	代	
高橋	昭夫	中島裕	日尾	政喜	本間	亜希子	宮下	優子	精	二	
高橋	清	中嶋章	廣中	健人	前田	隆一	宮治	克巳	吉	川	
高橋	孝太郎	中間佐都美	廣中	幹大	牧	末美	宮路	浩二	吉	田	
高橋	佐知子	中野度茂代	廣中	優衣	正田	千尋	宮成	智加子	吉	田	
高橋	恵一	中山隆之	福岡	誠	舛水	行正	宮山	神輿愛好会	與	安	
高宮	隆吉	生麦運送(有)	福岡	岡園	松井	久美子	宮山	総代	(株)落雁	諸江屋	
竹内	良晴	西山	船岡	明夫	松岡	留美子	村田	八千雄	龍木	加代子	
竹田	紘崇	日本精麦(株)	福田	幸子	松本	江身子	百崎	製菓(株)	脇	レブランドホテル厚木	
(株)竹中工務店	根岸	根岸	福室	陽子	松本	江里子	森	茂紀	渡	辺	
太宰奈緒子	根岸	農園	藤井	明男	(株)松本	江里子	森	教之	渡	邊	
(有)田中写真	能條	隆	藤井	薫	(株)真	原電	工學	森	渡	邊	
田端生産組合	野地	浩一	藤井	小百合	萬	蔵丸	森	下	健	二	
玉川	貴嗣	(有)フ・リライアブル	藤井	佳子	三浦	志真	森	住	政	子	
玉腰	米吉	野村	藤澤	英幸	見	国	佳	森	和	幸	
田町	賢	野村	藤澤	靖典	三澤	敬	機	森	和	知	
玉森	礼子	野村	(株)藤	又	三澤	伸喜	谷澤	正	勝	美	
茅ヶ崎市漁業協同組合	パーク	久美子	代表取締役	藤澤均	水谷	稔	柳	正	勝	美	
中華	品源	蓮見	船岡	澄栄	三留	清一	山上	貞夫	廣	美	
塚本	美恵	蓮見	古谷	喜洋	三留	豊正	(株)山上	建設	廣	美	
露木	武光	蓮見	(有)古山	看板塗装	緑川	潔	山口	昭義	廣	美	
露木	生花	蓮實	古山	大二	皆川	清藏	山口	洋輔	廣	美	
鶴巻	里依子	長谷川	明夫	部谷	燈琉	欽一	山本	直美	廣	美	
常盤	正夫	長谷川	正富	部谷	準人	憲治	結城	航星	廣	美	
鳥羽	ひとみ	長谷川	祐崇	部谷	千明	常明	湯本	眞美	廣	美	
中川	清一	ハッピーライフ(株)	部谷	千明	皆川	秀明	横浜	貨物総合(株)	廣	美	



令和6年 新嘗祭式典のご報告

令和6年 篤志奉納者芳名 (順不同・敬称略)

11月23日、新嘗祭終了後、参集殿において式典を開催し、当神社への浄財や寄付などの多大なご尽力をいただきました篤志の方々を表彰しました。

浄財 横浜貨物総合株
 代表取締役社長 佐藤 俊哉
 浄財 上原 正治
 浄財 若月 佑輝郎
 浄財 福久谷 十 椋
 浄財 藤之木 一 貴
 什器 (株)竹中工務店 横浜支店



第57回 菊花写真展

菊花展においては県内9団体の菊花会によって約150点の作品が出品され、また約50点の色とりどりの菊花が奉納され、七五三詣で賑わう境内の参拝者の目を樂せました。写真展においても神社の四季・祭事などの貴重な瞬間を捉えた写真が20点以上出品されました。篤志の方の表彰に続き、寒川神社宮司賞をはじめとした協賛者賞の受賞者を表彰しました。

第57回菊花写真展 協賛者芳名 (順不同敬称略)

神社本庁統理
 寒川町長
 寒川町議会議長
 寒川町教育長
 茅ヶ崎市長
 寒川町商工会
 寒川町観光協会
 日本郵便(株)寒川郵便局長
 さがみ農協寒川地区
 寒川ロータリークラブ
 寒川ライオンズクラブ
 横浜銀行茅ヶ崎支店
 横浜銀行寒川支店
 湘南信用金庫寒川支店
 三昭グループ／中華一番／嵐坊
 (株)三昭ツーリスト
 熊澤酒造(株)
 (株)ジェイコム湘南・神奈川
 (株)読売Palette
 (株)ニッポン放送
 横浜エフエム放送(株)
 (株)さんこうどう
 (株)アクアリング
 (有)田中写真

令和7年 迎春ねぶた

乙巳 弁財天と幸運の蛇



寒川神社の正月の風物詩であります迎春ねぶたは、本年度25回目を迎えました。第1回から第12回は「干支」を題材に、第13回からは古事記や日本書紀などの「神話」を題材に制作しています。

令和7年の迎春ねぶたは、「乙巳」弁財天と幸運の蛇です。蛇は古くから豊穰神、天候の神として信仰されており、脱皮によって復活と再生を行うことから不老長寿として、また長期間、食事をしなくても生きることができるところから、強い生命力につながる縁起の良い動物、神の使いとして崇められてきました。原画にあります左右の蛇は、弁財天の使い、化身とされ、特に白蛇は商売繁昌の神様として、また中央に描かれている弁財天は七福神に含まれ、芸道や学問の神様として信仰されています。

ご参拝の皆様には、寒川大明神の八方除の御神徳と御加護をお受けいただき、令和7年を安寧にお過ごしください。ますよう、衷心より祈念致します。

【期間】

令和6年12月20日から令和7年2月23日まで
日没から午後10時まで点灯(三が日は常時点灯)
※2月1日より午後7時まで点灯

【規格】

横幅：9.0m 高さ：2.7m 奥行：1.7m
LED電球約150個使用にて制作

献灯協賛者芳名 (順不同・敬称略)

- 東映通信工業(株)
- (有)東映マンション
- 一政水産(株)
- 横浜貨物総合(株)
- 柴崎要
- 日本ロードマーク(株)
- 勝嶋孝司・間野隆司
- 森川栄介
- (株)竹中工務店 横浜支店
- 柏川昌和
- (医)芳晴会
- (株)愛児レディースクリニック
- (株)長谷川製作所
- (有)今井
- (株)丸井紙店
- (株)秋江
- (株)阿部
- (株)晃和ディスプレイ
- (株)北岡本店
- (株)豊榮金属
- 阿部和彦
- 田中雄二
- (株)T日コーポレーション
- (株)テクノス三和
- (株)タカトプランナー
- 石窯ガトーデテラス
- (株)ジェイコム湘南・神奈川
- 熊澤酒造(株)
- 加藤俊二・加藤芳恵
- (株)湘南スタイル工房
- (株)シテイライフ
- フジシロリサイクル
- 長谷島征次
- (株)金子建材土木
- (株)エモアホーム
- TNKグループ 田中組
- 寒川ごとう眼科
- (株)サイファーム
- ハタノ木材(株)
- (株)初案社
- (株)Asustrust
- 小田行政書士事務所
- (有)山下板金工業
- (株)匠伸
- (株)エイブル
- ガーデンプラックス
- (株)太平商事
- (株)重吉
- 匿名

12月20日午後4時30分より神門前にて、青森県よりねぶた師、ねぶた関係者がお越しになり、ハネトとしてねぶた囃子を奉納後、点灯しました。当日は約150名の参拝者が点灯したねぶたを背景に写真撮影など行い、新年を迎える準備が整いました。



制作者

青森ねぶた師 諏訪 慎氏

昭和53年生まれ



9歳からねぶた囃子に参加し、同時期にねぶた小屋へも訪れ、作業を手伝いながらねぶたを勉強。高校1年生から本格的にねぶた制作に加わり、師匠の石谷進氏と共にデンマーク、ハワイ、モスクワなど海外でも活動する。石谷氏の引退後、平成16年からねぶた愛好会の制作を担当。令和6年8月の青森ねぶた祭においても大型ねぶたを制作し、参加している。

迎春ねぶた

第25回記念特集

当神社の迎春ねぶたは平成13年より設置されています。初回は当神社の啓蒙、初詣の風物詩、さらには干支を題材として神門が恵方門となるように祈念して始められました。第1回は巳年から始まり、干支が一巡しまして、第13回からは古事記や日本書紀等の「神話」を題材にして、その年毎の世情を鑑みたものや、神社界の慶祝行事などの多くの要素を組み入れて選定し、制作されています。昨年からは再び、題材に干支が復活し、新たなねぶた師により制作が進められています。

また提灯の献灯におきましては、第2回より協賛のご依頼を申し上げており、多くの皆様のお力添えをいただき、現在に至っています。本年が皆様方にとりまして、寒川大明神の御神徳により事業繁栄・家内安全の年となりますことを祈念申し上げます。



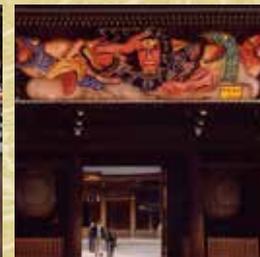
第18回 奉祝 御社殿御造営竣功20年



第13回 開運 國生み「大八洲」



第12回 開運 五行の龍



第1回 降魔調伏



第1回 降魔調伏下絵

諏訪 慎		北村 春一		北村 達明							千葉 作龍							内山 龍星					柳谷 優樹 ※企画 千葉 作龍	制作者			
第25回	第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回	回数	年号	題材
令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年		年号	降魔調伏
乙巳ノ弁財天と幸福の蛇ノ	甲辰ノ八大龍王ノ	瓊瓊杵尊と木花咲耶姫	風神雷神ノ厄難消除ノ	疫病退散	神武東征	天孫降臨	奉祝御社殿御造営竣功二十年	稲羽の素菟	海幸彦山幸彦	八岐大蛇退治	天の岩屋戸	開運 國生み「大八洲」	開運 五行の龍	開運 月の兎とかぐや姫	開運 虎視躬行	開運 吉祥ねずみ	開運 猪突豪胆	恵方八犬	飛翔ノ鳳凰昇天ノ	除災招福ノ孫悟空平成不況退治ノ	一陽来福ノ群羊を駆つて猛虎を攻むノ	除災招福・天下泰平	降魔調伏				



第23回 瓊瓊杵尊と木花咲耶姫



第22回 風神雷神ノ厄難消除ノ



第21回 疫病退散



第20回 神武東征



第19回 天孫降臨

平成27年 乙未歳



平成28年 丙申歳



平成29年 丁酉歳



平成30年 戊戌歳



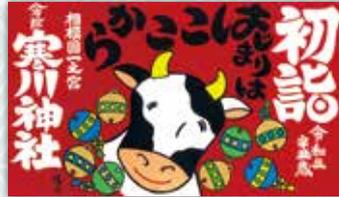
平成31年 己亥歳



令和2年 庚子歳



令和3年 辛丑歳



令和4年 壬寅歳



令和7年

乙巳歳 干支の絵のご紹介

令和5年 癸卯歳



令和6年 甲辰歳



十干十二支

※本年は42番目の乙巳
十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)、
十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・
酉・戌・亥)を順次60組に合わせて、この
六十干を「1周」として還暦といえます。

当神社の干支の絵は、平成27年の乙未歳より陽月さんきのとひつしが制作されています。制作は、本年で11回目となり、初詣を清々しく彩る作品となっています。干支ポスターは本年においては、白の蛇・金の蛇のそれぞれ2種類を描いています。境内各所をはじめ、正月特別御朱印、近隣の鉄道や駅、バス車内などに掲示されています。(年末から1月中旬にかけて掲示されています)



〈陽月さんからのご挨拶〉

私が書画を勉強していた頃、恩師から教えられたことがあります。「作品には作者の思いも描き出される」と。寒川神社様の干支の絵を描かせていただく時は、この恩師の言葉を思い出します。平和で無事な日々が過ぎますようにと、思いと願いをこめて描かせていただきました。令和7年が笑顔の巳歳でありますように。

◆ 陽月さんのご紹介 ◆

書家、絵馬作家として、個展活動とともに企業や神社等のポストカード、ポスター、カレンダー、絵馬などを手掛けています。

青少年だより 寒川神社少年館

寒川神社少年館は10月6日に横須賀市へ秋の遠足に行きました。雨が降っていたため、午前中は「横須賀市自然・人文博物館」を見学し、横須賀の自然や歴史について学びました。午後からは天候が回復し、「長井海の手公園ソレイユの丘」のアスレチック広場でのびのびと遊びました。ソレイユの丘では押し花のキーホルダー作りをしたり、海岸へ降りて貝殻拾いや魚を捕まえたりと、普段はできないたくさんの体験ができました。



また、11月3日には第64回茅ヶ崎市民文化祭の第59回吟剣詩舞道大会に館生9名が参加し、合吟「富士山」を茅ヶ崎市民文化会館にて披露しました。人前で歌うのは参加者全員が初めてでしたが、緊張しつつも元気な声で歌い上げました。

11月30日、12月1日には文化祭を開催し、2日間で100名以上が来館しました。講座作品展示のほか、美術講座体験の木の名札作り、書道講座体験で海の生き物の名前を書いて展示し、茶道講座のお点前披露・お茶席体験、久々の英語講座のビンゴ大会などが行われ、大変賑わいました。



相模

第539号

BS 青少年だより

ボーイスカウト 寒川第二団



ボーイスカウト寒川第二団は、10月に全隊スカウトをはじめ団関係者によって神饌田の稲刈りを行いました。また各隊では秋の諸活動を実施しました。通常の隊集会に加えて、カブ隊では、10月はくまスカウト歓送キャンプと江の島ハイキングを行い、11月は愛甲郡愛川町中津川において親子でフィッシング、12月には親子でクッキングを実施しました。ボーイ隊では、11月にスカウトハウスにて新嘗祭の日に併せ、新穀に感謝する野外料理を実施し、12月には平塚市へ月の輪スカウト歓迎ハイクを行いました。ベンチャー隊では、神奈川県神社庁にて執り行われた神道章伝達式にスカウト3名が出席し、神道章が授与されました。令和6年の活動を各隊が無事に終えることができました。本年も活動に邁進していきます。



スカウト募集中! 小学1年生以上の男女

問合せ

寒川神社少年館内
ボーイスカウト事務局

Tel.0467-74-0551

神恵苑だより

相談窓口

施設見学をご希望の方は下記の電話番号まで、お問合せください。

宗教法人 寒川神社 **介護老人保健施設 神恵苑**

電話 **0467(75)8677** 開苑時間 平日9:00~16:00

神恵苑の「通所リハビリテーション」について

通所リハビリテーション 長塚 恭士

今回は、神恵苑の通所リハビリテーション（以下、通りハ）についてご紹介致します。神恵苑の通りハは在宅生活をしている方が、通いながら利用する介護保険のサービスです。寒川町全域、隣接している茅ヶ崎市、藤沢市、海老名市の一部にお住まいの方が利用できます。サービス内容は、入浴・個別リハビリ・食事・レクリエーションなどを提供しています。1番の特徴は、国家資格を持った理学療法士や作業療法士のリハビリ職員が配置されていることです。個別で状態に合わせてリハビリを受けることが可能で、1対1でリハビリを行うため、小さな変化やその日の体調などの希望に応じてプログラムを変更し、柔軟に対応しています。他にも看護師や介護職員による健康チェックや身の回りの介護も行っています。食事は管理栄養士により、持病やアレルギー、飲み込みの状態など個々に合わせた内容、形態で提供しています。

また近年、介護職員が行うレクリエーションにおいて「リハビリテーショントレーニングツール」という機器を導入しました。きっかけはリハビリを受けに来ている方に、より運動をさせていただきたいという強い思いがあり、導入を決めました。この機器は手でコントローラーを持たず、テレビ画面の前に立つだけで体の動きそのものがコントローラーとなり、運動・発声・脳活性化トレーニングが行える介護予防システムです。1名から複数名が同時に利用可能で、ゲーム感覚で遊びながら自然とリハビリが可能です。

自宅から通う通りハは、他のご利用者と交流して刺激を受け、心身ともに大変有効なサービスの1つと思っています。職員一同、通りハを通して、いつまでも住み慣れた地域で皆様方が過ごせるよう支援して参ります。通りハは、事前お問い合わせの上で見学できますので、ご要望の方はご連絡ください。今後共、宜しくお願い致します。



正月特別授与品のご紹介



【授与所開設時間】 午前8時~午後4時30分(通常)

※正月期間中の開設時間はホームページにてご確認ください

※授与品は数量限定となりますのでご了承ください



福俵

初穂料 1,500円



千支絵馬

初穂料 500円



千支一刀彫 ※木箱入り

初穂料 2,500円



ねぶた絵馬

初穂料 500円



千支木彫 ※台座付き

初穂料 2,500円



絵馬付き破魔矢

初穂料 1,500円



寒川俳壇

草の葉に弾み残して蜻蛉とんぼ飛ぶ
 筋トレと思えば楽し落葉掃き
 腕白のポケットに栗・肥後守
 凹みたる先祖の硯秋灯し
 お互いに好きなこととして文化の日
 ほうじ茶に薄皮饅頭九月の夜
 小春日や悩みひとまず脇へ置く
 体調に合はず歩巾や秋の晴
 腕を振る歩きも楽し秋うらら
 水攻め如く一村秋出水
 秋晴の光一筋雑木山
 文化祭評価気になる初出句
 絵手紙に書かれし便り鳥瓜
 立身の息子を待てり柿の歌

岩田美代子
 松本美智子
 加賀 壮介
 金子 晴子
 倉谷 節子
 竹村真砂美
 猿渡 弥生
 菅沼うめの
 新井 泰春
 菅沼 保幸
 伊藤 公一
 佐藤 風月
 須田 柚川
 吉田半夏生

相模の歌

相模詠草

朝食後二種の新聞じっくりと認知予防と世に遅れじと
 丈高きバラの木庭の片すみピンクの花の五、六輪咲く
 様々に思い巡らせしみじみとトンカツ揚げる結婚記念日
 友からの甲斐の新米届きたりぴかぴかふんわり土の香のして
 ばあちゃんどザリガニとりに孫の「リク」あつと言うまになんと七匹
 不束ふつつかな蹉陀さだくり返す冬支度『うさぎと亀』の童話に苦笑す
 コロナ過ぎやつと実行台湾に各所廻りて老の思い出
 バツサリと大枝切られし蠟梅ろうばいの小さき枝に蕾いくつか
 朝は先ずコーヒー一杯ゆつくりと味わい居れば心も和む
 ほととぎす咲き残りたる花にさす午後の日差しのおだやかなれる
 宴終り静けさ戻る冬の夜ストーブの湯しんしんと鳴る

稲垣 武子
 亀山 文子
 小林 篤子
 徳江 道子
 土屋トミ子
 清水 洋一
 二宮 昭雄
 宮治友美枝
 山根喜美代
 杉本 照世
 瀧本三重子



【寒川俳壇】
 ・昭和24年に誕生。(大正時代から不定期に開かれていた)
 ・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

寒川俳壇では現在、会員を募集しております。月に数回、会を催しておりますので、詳しくは教学部教化広報課までお問い合わせください。

【相模詠草】

・野ばら文化会前身、婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生による詠草。公民館まつり、短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
 ・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで、生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

1月～3月

寒川神社

祭典・行事のご案内



追儺祭

◎紀元祭並顯彰奉告祭

2月11日

日本国の建国を奉祝して、皇室国家の弥栄と氏子崇敬者の発展を祈ります。



◎祈年祭並田打舞神事

2月17日

五穀豊穰と産業振興を祈る春祭です。神職と社人が翁の面を被り、田を耕し、種子を蒔く所作をしながら神楽歌を謡い、豊年を祈ります。



◆正月期間(1月・2月)の交通安全祈禱の「車」のお祓いについて◆

・正月期間中の「神職による車のお祓い」は、下記の通りとなっております

【大晦日・1月中】車のお祓いは行っておりません

【2月の平日のみ】車のお祓いは行います ※2月の土・日曜日・祝祭日は行いません

【お願い】

・お祓いをお受けになる場合、神社の駐車場(第1・第2・第3駐車場)にご駐車ください

※第4駐車場、または近隣駐車場にお停めになられてもお祓いは行えませんのでご了承ください

・車のお祓いをお受けになる方は車のナンバーが必要です(例:湘南888 さ 920)

・お車のお祓いができない期間中であっても、交通安全御祈禱はお受けいただけますので

上記期間中に交通安全祈禱をお受けになる場合は、お札渡し処にて**車の鍵**のお清めをお受け願います

・後日、奉仕可能日にお越しいただいた際に、正月に交通安全祈禱を受けられました旨のお申し出をいただけましたら、改めてお車のお祓いをさせていただきます

◆初詣のご案内◆

・郵送による御祈禱並びに授与品の郵送対応を承っております

・御神前に上がらずに神札をお持ち帰りいただく方法を承っております

・御朱印においては、1月中は特別御朱印(書置き)のみの対応となります

1月 睦月

- 1日 午前0時 八方除祭
引き続き 元旦祈禱祭
午前6時 歳旦祭
引き続き 末社歳旦祭
- 2日 午後8時 追儺祭
- 3日 午前8時 元始祭
- 8日 午前10時 武佐弓祭



武佐弓祭

2月 如月

- 2日 午前11時・午後2時 節分祭
- 11日 午前10時 紀元祭並顯彰奉告祭
顯彰式
- 17日 午前10時 祈年祭並田打舞神事
- 23日 午前10時 天長祭

天長祭 2月23日

今上陛下の御生誕の日を氏子崇敬者とともにお祝いし、皇室の弥栄を祈念します。



3月 弥生

- 20日 午前10時 安藤由勝大人命
伊集院直彦大人命
他命等の慰霊祭
- 午後1時 末社御祖神社
春季霊祭並合祀祭
- 午後2時 宮山役員改選奉告祭

彬姫櫻

平成29年12月に三笠宮彬子女王殿下によってお手植えされた「彬姫櫻」は、例年3月中旬から後半頃に開花が見込まれます。



- 毎月1日・20日
午前8時30分 月次祭(1月1日除く)

寒川神社 令和7年初詣の御祈禱、受け入れについて

正月三が日・1月・2月の土・日曜日・祝祭日・大安の日は例年、大変混雑しております。
極力、混雑日を避けていただき、ご参拝の方それぞれがご自身の体調管理に十分ご留意いただきまして、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。
※ご参拝の際には改めてホームページをご覧ください



▲御祈禱のお申込みは客殿にてお申込みください

◆正月期間(1月・2月)の御祈禱受付時間について◆

- ・御祈禱は予約制ではございません、当日受付のみです
- ・大晦日の午後11時45分より元日の午後5時まで受付
【1月2日～5日】
午前6時30分から午後5時まで受付
- 【1月6日以降の平日】
午前7時30分から午後5時まで受付
- 【1月の土・日・祝祭日】
午前6時30分から午後5時まで受付
- ※2月以降は午前8時から午後5時まで受付

相模の歌

少年館こども俳句



きゆうしよくで はじめてたべた やきさんま 露木 一葉

さけのかま あぶらとろーり おいしいな 佐野 陽斗

赤トンボ そらたかくとぶ ゆうゆうと 鈴木 陸斗

やきざんま だれかがすつと つまみぐい 青島こころ

新米や 売り切れ続出 米屋でも 櫻井 暁介

朝寒や ふとんの中で みのむしに 寺久保睦月

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。



睦月
「1月」

如月
「2月」

弥生
「3月」

Photo Wedding

フォトウェディングが新しくなりました!!



御本殿において結婚のご報告

御神域での撮影

奉告の儀 × 神嶽山神苑

寒川神社 参集殿
様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ

☎0467-75-5555



編集後記

新年明けましておめでとうございませす。神道には「中今なかついま」という言葉があります。解釈はいくつかあるようですが、現在を時間軸として過去、未来を意識しながら、今が最も盛んな最中と賛美した言葉という意味もあります。あの頃はよかった、未来はこうあるべきなどと思うことがありますが、今日という日を、また今自分の置かれている立場で、一生懸命に取り組むことが過去、未来の自分に恥じないことかと思えます。本年も毎日を大切に過ごして参ります。
(俊)

祝祭日には国旗を掲げましょう



相模國一之宮



JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km

次号『相模540号』は令和7年4月1日に発行します



公式
Instagram



Youtube
公式チャンネル



公式ライン
アカウント



寒川神社
ホームページ

発行所／寒川神社社務所 ☎0467-75-0004(代)
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916

編集責任者／小野 俊之
印刷所／株式会社さんこうどう